

人がつながる、  
輝くまち

美しく、  
品格あるまちづくり

安心して、  
子育てできるまち

みんなが健康で、  
幸せなまち

「ようこそ、三島へ」



三島市長 豊岡 武士

この冊子には、三島暮らしをスタートされる皆さんを「おもてなしの心」でお迎えし、三島の魅力を知っていただくとともに、市役所での各種手続き、子育てや医療に関することなど生活に役立つ情報を盛り込み、三島に愛着を持っていただきたいという願いが込められています。

市では、現在「スマートウェルネスみしま」「ガーデンシティみしま」などのまちづくりプロジェクトを掲げ、市民が健康で幸せを実感できる「健幸都市」づくり、湧水とせせらぎに歴史、文化と「花」を活かした「美しく品格のある誇れるまちづくり」を進めています。

また、特に若い人たちの雇用機会の確保や安心して子どもを産み育てられる環境づくり、災害対策などにも力を注いでいます。

「三島で生まれてよかった、育ってよかった、暮らしてよかった」と感じられるウェルビーイング（※）なまちを目指し、市民と行政が一丸となり、全力で取り組んでいます。みしまライフを楽しんでいただければ幸いです。

※ウェルビーイング（Well-being）・・・  
精神的、身体的、社会的に満たされた  
状態のこと

～三島って、  
どんなまち？～

三島市は、静岡県の東部、富士箱根伊豆国立公園の玄関口に位置し、古代中世には伊豆の国府が置かれ、鎌倉幕府を開いた源頼朝が尊崇した伊豆一宮である「三嶋大社」を中心に、江戸時代には東海道五十三次の一つ「三島宿」として賑わった、長い歴史のあるまちです。

昭和44年に新幹線三島駅が開業してからは、伊豆・北駿の交通の結節点として、静岡県東部の中核をなす都市となるまでに発展しました。

また、富士山からの伏流水がつくりだすせせらぎと、箱根西麓から市街地に至るまで豊かな緑と自然環境に恵まれたまちです。

人口：104,803人  
(令和7年1月31日時点)

市の花：三島桜  
市の木：イチョウ  
市の鳥：カワセミ

